

峰のひかり

発行人
社会福祉法人 七峰会

理事長 奥田 稔

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町21-8

電話 (0172)33-8861

FAX (0172)33-8862

『山郷館総合
支援センター黒石』
オープン

身体障害者
療護施設

山郷館

山郷館グループでは、平成18年9月より『山郷館くろいし』(身体障害者療護施設 定員30名 全室個室、3ユニット)が地域における障がい者の施設入所支援の中心として、その機能を担ってきましたが、この10月より、新たに在宅障がい者福祉の拠点が開設しました。

在宅障がい者支援については、これまでも山郷館キャンパス(地域活動支援センターⅡ型)、山郷館くろいし日中一時支援事業所において、障がい者(児)の宿泊や日中活動などを行ってきましたが、これらの事業をより発展させ、在宅障がい者(児)福祉の総合的支援を行うセンターとして平成20年10月20日にオープンしました。

名称は、『山郷館総合支援センター黒石』となり、黒石市甲大工町にある県の旧黒石保健所の敷地と建物を全面改装し、社会福祉法人 七峰会が黒石市を中心に近隣市町村を含めたエリアを対象地域として、各種の障害福祉サービスを実施し、在宅障がい者(児)の総合的な支援を行うものです。センターの概要は次のとおりとなっています。

支援センター黒石

(センターの総称です)

住所 黒石市大字甲大工町2番地2

TEL(0172) 88-5018

(代表)

FAX(0172) 88-5018

実施事業と事業所名

1 山郷館サポートセンターくろいし

(地域活動支援センターⅠ型)黒石市委託事業)

各種相談支援、福祉サービスの申請支援、ボランティアの育成、広報活動、創作活動等を行います。

2 山郷館キャンパス

(地域活動支援センターⅡ型)黒石市委託事業)

機能訓練、社会適応訓練、入浴、生産的活動の機会提供等を行います。

3 山郷館デイサービスセンター黒石

(生活介護事業及び就労継続支援B型事業)

生活介護事業(食事・入浴等の介護サービス、機能訓練、余暇活動を行います)。

就労継続支援B型事業(雇用契約を結ばないで、仕事に就けるための基礎的訓練を行います)。

4 山郷館訪問介護センター黒石

(居宅介護・行動援護)

訪問介護員の派遣により、家事援助、身体介護、通院介助等を行います。

5 山郷館くろいし日中一時支援事業所

日中の時間内で、一定時間をご利用いただくものです。

センターは黒石市の市街地中心部にあり、ねぶた祭りやよされ踊りの御幸公園や文化センター・市役所が近くです。各事業所の見学を随時受け付けております。お気軽にお立ち寄り下さい。

『山郷館くろいし』(身体障害者療護施設)と連携しながら、この地域での施設活動と在宅福祉の活動を積極的に進めていく拠点となるよう努力してまいります。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。





ご存知ですか?
サンアップルホーム
配食サービス
 特別養護
 老人ホーム
**サンアップル
 ホーム**

サンアップルホームでは、施設の食について充実したものに組みむとともに、在宅の食についても検討を重ねてきました。

一人暮らしの方、高齢者、ご夫婦世帯、ご家族が多忙で日中独居状態の方など、

- ・ 買い物が難しい(近くに店がない、重いものが持てない)

- ・ 調理が困難(膝が悪くて台所に長く立てない、脳卒中後遺症など、で身体に不自由な部分がある、配偶者が亡くなったが自分

- ・ は調理をしたことがない)
- ・ 調理が大儀(気分が乗らず、調理をしたくない)

- ・ 疾患による療養食が必要(糖尿病食、腎臓病食等)

何等かの理由で、食事に苦慮していませんか?

介護サービスを利用してヘルパーによる生活援助ということもありますが、食事の確保と安否確認があれば、今のところは十分という方もいるかもしれません。自分の家で長く暮らすための安心を

食と訪問で支援するのが「配食サービス」です。

サンアップルホームでは、その方が必要であれば、毎日でも、ご自宅に配食します。

高齢者の方が、在宅で長く生活が出来ますように食の面からも支援いたします。臨機応変に対応しますので、お気軽にご相談ください。

《利用者負担額》

1回の配食サービスにつき 400円

《相談・お問い合わせ》

○弘前市北部地域包括支援センター

0172-9512100

○サンアップル在宅介護支援センター

0172-9712131

○特別養護老人ホーム

サンアップルホーム

0172-9712111



カルチュアロード
出店
 知的障害者
 更生施設
拓光園

拓光園では、施設で作った作品を通して、地域の方々に園の取り組みを理解してもらったり、利用者の社会参加を図ることを目的として、弘前市土手町で開催される『カルチュアロード』に毎年出店してきました。

今年も、9月14日の秋晴れの下、利用者3名と職員2名が皆で丹精込めて作ったたくさん作品を販売しました。今回は、椎茸班が原木栽培した生椎茸やそれを園で乾燥させて作った干し椎茸、石鹸班が天ぷら油の廃油を利用して作ったサイクル石鹸などを中心に、刺し子のランチョンマット、巾着、手提げカバン、花器や茶碗などの陶芸品も出品しました。なかでも、毎年一番人気の高い干し椎茸は、わざわざそれを目当てに買いに来てくださいっている方もいるほどで、テーブルに出している側から飛びように売れ、午前中のうちに完売となってしまいました。そのため、急遽園に残っている在庫を大急ぎで準備して販売するという一幕もありました。



また、同行した利用者や職員にとっても、自分たちの作った作品が目の前で次々と売れていく状況を見たり、買ってくれたお客様から「これからもいい作品をたくさん作ってね」などと温かい励ましの言葉を掛けていただくことで、作品作りへの更なる意欲やよい刺激に繋がっていることはいまでもありません。当園の作品を毎年心待ちにしてください。利用者・職員一丸となって今後もより良い作品作りに精一杯励んでいきたいと考えています。尚、拓光園の作品は『カルチュアロード』の他にも販売していますので、興味や関心のある方はぜひ拓光園までお問い合わせください。拓光園(TEL0172-9612331)



第二回職場定着促進のための在職者の交流活動研修会
 知的障害者 通勤寮
拓心館

津軽障害者就業・生活支援センターでは9月14日、ラグリーにて「第二回職場定着促進のための在職者の交流活動」研修会を開催致しました。

参加者は拓心館、コーポラスよろこび、グループホームに在住し就職されている方が対象であり、今回の研修会では実際の現場で支援しているジョブコーチ(第一号職場適応援助者)の窪田から直接相談を受けた事柄の報告がありました。

相談事の内容としては
 ・仕事の内容について難しい、覚えられない
 ・(時間をかければ改善できる)
 ・嫌な仕事(トイレ掃除等)などで自分だけ行なうの
 (その仕事をやる人もいなければならぬ)

などの具体例も挙げられており、日頃から生活習慣を整えて体調管理をしっかり行い「休まずに出勤すること」が何よりも大切であると話され、参加者の皆さんも大き

くうなずいて聞いていました。

また、ディスカッションでは参加者同士で日々働きながら思っていること、人との付き合い方などを話しあったり、ジョブコーチ支援を受け入れて改善するための指摘を受けた。解らない事をきちんと聞く事ができた。次に来た時にほめられた事がうれしかった。

ジョブコーチの受け入れは正直戸惑った、怖いという噂があったのでどうなるか不安だったが、実際に接してみても優しくかったので良かった。ジョブコーチから言われた事を守りこれからは仕事を頑張りたい。

と個人的な意見が多く出され、会場は大変に盛り上がりました。
 次回第3回は12月を予定しています。



納豆作業開始

身体障害者 授産施設

旭光園

今年度、念願の食品加工作業を開始しました。

旭光園では、従来の授産科目(袋・箸・シール)の売り上げの著しい減少に伴い、利用者の工賃や作業参加場面に影響しかねない状況でした。そこで、職員一人ひとりが知恵を絞りながら色んな意見を出し合い、新しい作業種を考える事になりました。

身近に消費でき、安定した販売が望めると共に、設備が比較的安価でできるという事でやっとたり着きました。それが、日本の食文化に欠かせない「納豆」です。

独自で試作に挑戦後、岩手県の納豆作りに取り組んでいる施設を見学し、設備・環境などの情報を得ました。そこで、納豆製造指導業者の存在を知り、納豆作りのノウハウから設備設置まで本格的に具体化していきました。

平成20年3月によく納豆室が完成し、本格的に始動しました。取り組み始めた当初は、豆が軟らかい、硬い、匂いが強いなど、様

々な失敗をしました。失敗を重ねるごとにコツを掴み、今では胸を張って皆様に美味しい納豆をお届けできるようになりました。

現在、納豆作業は利用者3名、職員2名で行っています。盛り込みから包装まで手作業です。黙々と作業をし、最近では手際も良くなってきました。

旭光園で作っている納豆は、国産大豆を100%使用しています。食の安全に関心が高まる中、安心・安全で美味しい納豆を提供していきます。今後も、更に質を高めて、たくさんの方に喜んでもらえるよう研究を重ねていきます。旭光園の納豆「猿賀納豆 福福」をぜひ一度ご賞味ください。





いわせて ネット

僕とパソコン

旭光園の食堂にはパソコンがあり、昼休みとなればインターネットをしたり、ゲームをしたりして、皆さん楽しんでいきます。僕も休み時間は、ホームページを見て使っていました。それから、しばらくして僕は、3年前にパソコンを購入しました。学生時代に、文章の作成やゲームなどをして、少しはパソコンに興味があったからです。今では休日、デジタルカメラで風景を撮影したり、動物を撮影したりした写真を、パソコンに取り込んで楽しんでいきます。取り込んだ写真は、後で楽しんで見えています。あと、車が好きなので、インターネットで、各社メーカーのホームページを見て、車のカタログを取り寄せたり、オークションをしたりしています。その他、大好



きな日テレのアナウンサーの西尾由加里さんの写真を集めたりしてたくさん楽しんでいきます。少し高かったけど、パソコンを購入してよかったです。旭光園には、パソコンの使い方を親切に教えてくれる職員がいて、使い方を分かり易く教えてくれ、安心してパソコンを使うことができます。これからも、もっとパソコンの使い方を勉強して、使いこなしてゆきたいと思っています。 葛西洋 記

七峰会後援会施設訪問 見学研修のお知らせ

七峰会後援会の施設事業所見学会は、左記の通り今年も実施致します。障害者自立支援法の施行により、七峰会が経営する障害者各施設は平成18年度から移行期間満了の平成23年に向けて着々とその対応について進めています。

その中、今年度は旧黒石保健所をリフォームして10月20日開設の山郷館総合支援センター黒石の見学と平川市(旧尾上町)の旭光園の新作業種として設備致しました納豆製造と精米について見学し、併せて会員の交流を深めたいと計画致しましたので会員の皆様には多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日時 平成20年11月7日(金)
場所 黒石市及び平川市
見学研修施設 山郷館総合支援センター黒石 (10時50分着予定)

交流会 社会就労センター旭光園
『猿賀盛美園』見学後
『もてなしロマン館』にて食事会
交通 チャーターバス
出発 10時発 弘前市役所正面玄関前
10時20分頃
到着 15時着
ホテルニューシティ弘前中央正面玄関前

会費 お一人1500円(当日頂きます)
※会員の皆様及び非会員の皆様の多数のご参加お待ちしております。

【お問い合わせ】
七峰会本部事務局 0172-33-8861

総合支援	障害者支援		特別養護老人ホーム	居宅介護支援事業
	(主に知的)	(主に身体)		
青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター TEL 82-4520 弘前市委託事業 弘前市障害者生活支援センター TEL 31-2240 弘前市北部地域包括支援センター TEL 95-2100	拓心館 TEL 82-4520 グループホーム ケアホーム12ヶ所 生活自立訓練事業 就労サポート 学 生活介護・就労継続支援B型エイブル 光園 TEL 96-2331 通所利用事業 拓光園短期入所支援センター 拓光園障害児デイサービスセンター 日中一時支援事業所 共同生活介護事業所	山郷館 TEL 97-2211 山郷館 ぐろいし 身体障害者(児)短期入所事業 山郷館デイサービスセンター 山郷館アイサービスセンター弘前 山郷館アイサービスセンター 山郷館地域活動支援センターキャンパス 山郷館地域活動支援センターくれよん 山郷館訪問介護センター 山郷館訪問介護センター黒石 光園 TEL 57-5155 通所他障害者利用事業 旭光園身体障害者短期入所事業 福祉ホーム さわら	サンアップルホーム TEL 97-2111 サンアップル短期入所生活介護センター サンアップルヘルパーサービスセンター サンアップルヘルパーセンター TEL 95-3758 認知症グループホームアップル TEL 97-2778 認知症ケアサービスセンターじよい TEL 97-2013 サポートセンターわかば 弘前市大字若葉2丁目15 TEL 37-1165 認知症グループホームわかば デイサービスセンターわかば サンアップル在宅介護支援センター TEL 97-2131	山郷館居宅介護支援センター TEL 97-2941 サンアップル居宅介護支援センター TEL 97-2131